

井笠農業普及指導センター

### 低温と大雪に伴う農作物等の被害防止について

気象庁の発表（1月30日）によると、中国地方の気温は、2月初旬から冬型の気圧配置が強まり寒気の影響を受けやすいため低く、2月5日頃からはかなり低くなる見込みであり、大雪に対する警戒が必要とされ、水道管の凍結やビニールハウス等の施設、農作物等への影響が懸念されるようです。

このため、今後、最新の気象情報に御留意いただき、令和6年12月9日付け、季節情報No.3を参考に各地域で適切な技術指導をお願いします。

なお、作業者の安全確保を最優先に二次災害の防止を徹底するよう、併せて注意喚起をお願いいたします。

低温と大雪に関する早期天候情報（中国地方）

（2025年01月30日14時30分 広島地方気象台発表）

中国地方	2月5日頃から	かなりの低温
	かなりの低温の基準：	5日間平均気温平年差 $-2.3^{\circ}\text{C}$ 以下
山陰	2月5日頃から	大雪
	大雪の基準：	5日間降雪量平年比 248%以上

農作物の冬季管理と低温・降雪対策について（季節情報No.3）

<https://www.pref.okayama.jp/site/200/949056.html>